

東お多福山草原保全・再生活動について！

東お多福山草原保全・再生研究会

■活動の目的

東お多福山は、かつて多様な草原生植物が生育する六甲山系最大のススキ草原が広がっていました。しかし、戦後の採草活動・刈り取り管理の停止、山火事の減少などによりネザザの勢力が増して、ススキや草原生植物が極端に減少しています。私たちは、生物多様性の保全・再生の観点からススキ草原の復元を目指して平成19年（2007）より活動をはじめています。

■草原の所在地

芦屋市と東灘区の境にあり、東お多福山山頂より、尾根伝いに両側に広がる草原



行き方

阪神芦屋駅、JR芦屋駅、阪急芦屋川駅から阪急バス（81系統）に乗り、東お多福山登山口バス停で降ります。登山道を45分歩けば、そこは六甲山地最大の草原がひろがる東お多福山山頂です！

編集：東お多福山草原保全・再生研究会

協力：橋本佳延（兵庫県立人と自然の博物館）

イラスト：阿部紀子

写真協力：スカイマップ株式会社

発行：兵庫県神戸県民局県民室

印刷：株式会社光陽社

発行年月日：平成25年3月8日

この冊子の作成にあたっては平成24年度科学研究費補助金若手研究B（課題番号:23701026）の成果の一部を使用しています。

24神戸P2-003A4

■活動の内容

東お多福山の尾根伝いに広がる草原に、繁茂した勢力の強いネザザの刈り取り作業や、仮払い機で刈り取ったネザザの集積作業。

■再生活動の成果

- ・ススキ草原の復活
- ・ネザザに覆われて地中に眠っていたキキョウ、スズサイコ、オミナエシ、ワレモコウ、オケラ、ツリガネニンジン、オカトラノオ、オトギリソウ、リンドウなどの草原生植物の再生。
- ・昆虫などの草原生物の飛来
- ・眺望の復活

■参考情報

- ・六甲山系は、大都市に隣接した都市山（東お多福山草原は、大都市に隣接した山にある草原）「全国草原の里市町村連絡協議会」が昨年の秋から選定作業を進めていた「未来に残したい草原の里100選」の第1回選定地域34か所の一つとして、2022年6月に選ばれました。

東お多福山草原保全・再生活動 ボランティア募集！

■内容

主に草刈り鎌を使った登山道沿いのササや、これまで長期間刈り取られず放棄されてきた植分のネザサの刈り取り作業、刈り払い機で刈り倒したササの集積が作業内容になります。

自分の体力にあわせて、自分のペースで作業することができますのでご安心ください。初めての参加の方には、鎌の扱いや安全確保のための簡単なレクチャーを用意しております。

なお、研究会として賠償責任保険に加入しておりますが、個人でもボランティア活動保険の加入をおすすめします。

■実施日時：

令和4年（2022年）07月13日（水）9時～15時（予定）夏のササ刈り（コドラートとその周囲）

■集合場所：

阪急バス 東おたふく山登山口バス停（9:00 集合）（J R 芦屋南口バス停 8時22分 発バス乗車が便利です）

■持ち物：

お弁当、敷物、飲料水（多め…500ml 3本）、タオル、マスク、雨具（天候が急変することがあります）、草刈り鎌（ノコギリ鎌がおすすめ）、（あれば）剪定鋏など

■服装：（虫刺されやケガ予防の為）

長袖、長ズボン、軍手、底の厚い靴（トレッキングシューズがおすすめ）、帽子（必須）

■日 程（予定）：

- 9時00分 阪急バス 東おたふく山登山口バス停 集合
 - 9時00分～ 9時15分 挨拶、砂防堰堤まで移動
 - 9時15分～ 9時25分 砂防堰堤ひろばで準備運動
 - 9時25分～10時20分 山頂付近まで移動、班分け、作業説明、道具分け
 - 10時20分～12時00分 班にわかれて草刈り作業
 - 12時00分～12時45分 昼食
 - 12時45分～14時00分 草刈り作業
 - 14時00分～15時00分 下山（東お多福山登山口バス停にて解散、15時38分発のバスに乗車予定）
- ※作業の進捗状況や天候の状況により変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ※登山口バス停も含めて常設トイレがありません。バス乗車前にトイレは済ませておいてください。
- 携帯トイレを少数ですが用意いたします。

■申し込み方法

甲南大学ボランティア受入担当 東お多福山草原保全・再生研究会（東灘マスターズ山歩きの会 北岡 裕）

Email：uik19427@nifty.com

上記 Email に、件名に「東お多福山草原保全・再生活動参加希望」、メール本文に名前（ふりがな）、電話番号、緊急時の連絡先および電話番号（例：ご家族の電話番号等）を明記の上、お申込み下さい。